

全国大学書道学会 会報

2

平成16年（2004）
3月31日発行
全国大学書道学会

平成十五年度

全国大学書道学会福岡大会 報告

福岡教育大学 片山 智士

平成十五年度全国大学書道学会が十一月二十日、福岡教育大学を当番校として、福岡市の中心部に位置するエルガーホール北7Fを会場に開催された。今年度は丁度、全高書研も福岡県が当番校ということとで、両研究会に関係の方、興味をお持ちの方が参加されやすいように敢えて日程を連続して企画した。お陰で一般参加を含めて約一五〇名の参加があった。

午前の総会では予算・決算、事業計画案などの所定議案を可決承認した後、十時から二分科会に分かれて各分科会四件、計八件で十二時まで発表と質疑応答が熱心に行われた。

午後からは「中国文化の日本的受容について」という演題で、福岡教育大学前学長の孤口治先生より記念講演が行われた。長年の中国思想史、中国文学に支えられたお話で、現在の日常生活の中に我々が意識していない中にも、中国文化が受容されていることを多くの事例を



記念講演（孤口 治 先生）

示しながら話され大変好評を博した。
午後二時四十分より研究発表に入り、東賢司氏（愛媛大学）の「墓誌銘から見る南北朝時代の婚姻について」、大橋修一氏（埼玉大学）の「日・朝・清の文物交流史の一断面」の二件の発表があり、引き続き質疑応答が熱心に交わされた。いずれも会員からの注目を浴びる質の高い研

究であった。

また同会場の併設会場では、会員七十四名による「会員作品展」が、今年は強い要望により半切大の軸形式で開設できた。会員皆様のご協力で、個性豊かな作品が並び、会場に花を咲かせていただいた。

なお、昨年の静岡大会から実現した託児室の利用もあり、会員の構成などを考えると必要なことであると実感した。

ご参加いただいた会員の皆様にお礼を申し上げますとともに、ご協力いただいた関係各位に厚く感謝申し上げる次第である。

平成14年度 全国大学書道学会 静岡大会 次第

- 1) 主 催 全国大学書道学会
 2) 開催大学 福岡教育大学
 3) 日 時 平成15年11月20日 (木)
 4) 大会会場 エルガーラホール 北7F
 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラ北7F
 tel 092-711-5017 fax 092-716-5045
<http://www.elgalahall.co.jp/>

5) 参 加 費 4,000円

次 第

9:00 受 付

9:30 開会式・総会 (中ホールA)

総合司会 事務局

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1、開会の言葉 | 野中 浩俊 (新潟大学) |
| 2、会場校挨拶 | 福岡教育大学学長 松尾 祐作 |
| 3、会長挨拶 | 小木 良一 (帝京大学) |
| 議長選出 | [竹之内裕章 (佐賀大学)] |
| 4、議事 | |
| 1) 平成14年度事業報告 | 青山 浩之 (横浜国立大学) |
| 2) 平成14年度決算報告 | 青山 浩之 (横浜国立大学) |
| 3) 平成14年度会計監査報告 | 前田舜次郎 (元跡見学園女子大学) |
| 4) 平成15年度事業計画案 | 青山 浩之 (横浜国立大学) |
| 5) 平成15年度事業予算案 | 青山 浩之 (横浜国立大学) |
| 6) 役員改選 | 幹事長・事務局 |
| 7) 紀要掲載論文査読規定及び執筆要項について | 横田 恭三 (跡見学園女子大学) |
| 8) 日本学術会議・研連オブザーバー推薦について | 事務局 |
| 9) 次年度開催校挨拶 | 田村 実 (四国大学) |
| 10) 新入会員紹介 | 事務局 |
| 11) その他 | |
| 5、閉会の言葉 | 阿保 直彦 (立正大学) |

10:00 研究発表・午前の部 (2分科会)

【第1会場】中ホールA (4件) 司会 松清 秀一 (鹿児島大学)

【第2会場】中ホールB (4件) 司会 住川 英明 (鳥取大学)

発表1 10:00~10:30

発表2 10:30~11:00

発表3 11:00~11:30

発表4 11:30~12:00

12:00 昼 食

13:00 記念講演 (中ホール)

「中国文化の日本的受容について」

菰口 治 先生 (福岡教育大学前学長)

14:40 研究発表・午後の部 (中ホール) 2件

司会 片山 智士 (福岡教育大学)

発表1 14:40~15:10

発表2 15:10~15:40

15:40 分科会報告 [各分科会の司会者による]

16:00 閉会の言葉 西橋 靖雄 (大阪教育大学)

解 散

研 究 発 表

9:00 受 付

9:30~10:00 総会（中ホールA）

10:00~12:00 研究発表〔1〕＊2分科会

【第1会場】（中ホールA）

1. 書に於ける言語芸術的省察 新潟大学大学院生 宮村 弦

2. 隷書の成立に関する考察—波勢の胎動と波磔の萌芽—

福岡教育大学大学院生 後藤久美子

3. 王莽・新代における文字資料の検討～蘇馬湾刻石を中心に～

福岡教育大学大学院生 松山 幸乃

4. ポテンシャル場およびマッハ効果を用いた

字座と眼球運動から解析される空間構成との相関について

静岡大学大学院生 沓名健一郎 静岡大学教授 平形 精一

名古屋大学研究員 高田 宗樹 名古屋大学教授 宮尾 克

名古屋大学助教授 岩瀬 敏

【第2会場】（中ホールB）

1. 教育の場における「漢字仮名交じりの書」の現状と考察

福岡教育大学大学院生 木内 理恵

2. 日本古代印の研究—奈良時代の官印を中心として—

東京学芸大学大学院生 杉山 勇人

3. 近代日本の書における漢字仮名交じり文の揮毫をめぐって

—「文検」の視点から— 横浜国立大学大学院研究生 柳澤ももこ

4. 山田寒山論—新聞資料と篆刻について—

熊本大学助教授 神野 雄二

12:00~13:00 記念写真・昼食

13:00~14:30 記念講演

14:40~15:40 研究発表〔2〕（中ホール）

1. 墓誌銘から見る南北朝時代の婚姻について 愛媛大学助教授 東 賢司

2. 日・朝・清の文物交流史の一断面 埼玉大学教授 大橋 修一

15:40~16:00 分科会報告（中ホール）

16:00 閉 会

平成14年度 全国大学書道学会活動報告書

(平成14年)

- 5月2日 平成14年度会員票（はがき）・会費振替用紙送付
- 5月18日 常任幹事会〔平成14年度静岡大会について・紀要掲載論文査読規定について・日本学術会議学術研究団体登録申請について〕
- 5月31日 日本学術会議第19期学術研究団体登録申請書提出
- 6月上～中旬 会員名簿作成、静岡大会要項（第1次）作成
- 6月20日 静岡大会要項（第1次）・紀要・書作品展図録・名簿等送付
- 7月10日 本年度大会研究発表応募締切日
- 7月中～下旬 発表要旨査読
- 8月10日 研究発表の許可について通知
本年度会員書作展作品締切日
- 9月14日 常任幹事会〔静岡大会について・研究発表順、会場設定について・総会議事案について・紀要掲載論文査読方法について〕
- 9月中旬 日本学術会議第19期学術研究団体登録申請結果通知
- 10月18日 静岡大会要項（第2次）・発表要旨集等送付
- 11月16日 幹事会〔静岡大会総会議事検討〕
- 11月17日 平成14年度静岡大会〔総会・研究発表・講演〕
書道三学会合同懇親会
- 11月17～18日 平成14年度会員書作展
- 11月下旬～12月中旬 研究発表論文査読

(平成15年)

- 1月～2月 紀要編集
- 3月8日 常任幹事会〔静岡大会反省・次年度福岡大会日程について〕

平成14年度 全国大学書道学会決算報告書

A・〔収入の部〕	
1) 平成13年度からの繰越金	1,731,830円
2) 平成14年度会費収入	2,020,000円
合 計 (A)	3,751,830円
B・〔支出の部〕	
1) 総会運営費	122,199円
2) 幹事会費	384,155円
3) 通信費	250,520円
4) 会員書作品展図録代	360,000円
5) 研究紀要代	730,040円
6) 事務費	155,550円
7) 慶弔費	0円
合 計 (B)	2,002,464円

(A) 総収入－(B) 総支出＝ 残 高

3,751,830 － 2,002,464 ＝ 1,749,366 円 (次年度繰越金)

上記の通り報告いたします。

平成15年11月20日

全国大学書道学会

監査

前田舜次郎

会計

青山 浩之

平成15年度 全国大学書道学会活動計画

(平成15年)

- 5月9日 平成15年度会員票（はがき）・会費振替用紙送付
- 5月18日 常任幹事会〔平成15年度福岡大会について〕
- 6月上～中旬 会員名簿作成、福岡大会要項（第1次）作成
- 6月13日 福岡大会要項（第1次）・紀要・書作品展図録・名簿等送付
- 7月10日 本年度大会研究発表応募締切日
- 7月中～下旬 発表要旨査読
- 8月9日 本年度会員書作展作品締切日
- 8月10日 研究発表の許可について通知
- 9月20日 常任幹事会〔福岡大会について・研究発表順、会場設定について・総会議事案について・役員改選について・第19期日本学術会議東洋学研究連絡委員会オブザーバー推薦について〕
- 10月16日 福岡大会要項（第2次）・発表要旨集等送付
- 11月19日 幹事会〔福岡大会総会議事検討〕
- 11月20日 平成15年度福岡大会〔総会・研究発表・講演〕
書道三学会合同懇親会
- 11月19～21日 平成15年度会員書作展
- 11月下～12月中旬 研究発表論文査読

(平成16年)

- 1月～2月 紀要編集
- 3月中旬 常任幹事会〔福岡大会反省・次年度徳島大会日程について〕

平成15年度 全国大学書道学会予算

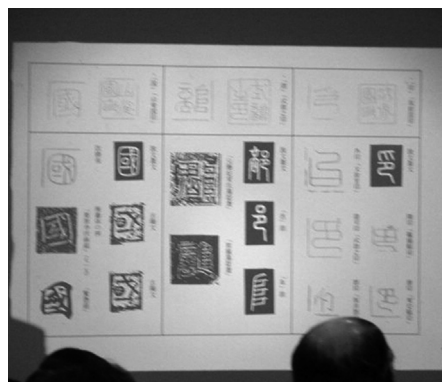
A・〔収入の部〕	
1) 平成14年度からの繰越金	1,749,366円
2) 平成15年度会費収入	1,920,000円
合 計 (A) 3,669,366円	
B・〔支出の部〕	
1) 総会運営費	150,000円
2) 幹事会費	400,000円
3) 通信費	280,000円
4) 会員書作品展図録代	360,000円
5) 研究紀要代	400,000円
6) 事務費	200,000円
7) 予備費	1,879,366円
合 計 (B)	



全国大学書道三学会 福岡大会 平成15年11月20日 於福岡市・エルガーラホール



松尾福岡教育大学学長



第一八期東洋学研究連絡委員会報告

第二回

平成十五年十一月十一日（火） 一三時三〇分～一七時

会場 日本学術会議 第一部会議室

議 題

- 1 委員長・幹事の選出
- 2 報告事項
 - (1) 日本学術会議について
 - (2) 第一部会について
 - (3) 東洋学研連について
 - (4) その他
- 3 審議事項
 - (1) 第一九期東洋学研連の活動について
 - a ニューズレターの発行について
 - b シンポジウムの開催について
 - c 第二〇期「課題別委員会」について
 - d その他
 - (2) 平成十七年度科研費審査委員候補者の推薦作業について
 - a 文科細目対応研連の見直しについて
 - b キーワードの見直しについて
 - c その他
 - (3) 代表派遣会議・派遣候補者の推薦および概算要求要望事項について
 - a 平成十五年度・十六年度代表派遣会議・派遣候補者の推薦について
 - b 平成十七年度予算概算要求について
 - (4) その他

第二回

平成十六年二月二十日（金） 一三時三〇分～一七時

会場 日本学術会議 第一部会議室

議 題

- 1 第一回議事要録の確認
- 2 報告事項
 - (1) 科学研究費補助金について
 - (1-1) 学術体制常置委員会および研連委員会役員合同会議（一・二〇）の報告
 - (1-2) 平成十七年度科学研究費審査委員の「情報提供」について
 - (2) 連合部会および第一部会（一・十六～十七）について
- 3 審議事項
 - (1) 東洋学シンポジウムの開催（五・十五）について
 - (1-1) シンポジウムの趣旨
 - (1-2) シンポジウムのプログラム
 - (1-3) 経費の問題
 - (2) ニューズレターの発行について
 - (2-1) 担当委員の確認
 - (2-2) ニューズレターの意義、内容、形態
 - (2-3) 発行予定日と原稿の締切
 - (3) 第二〇期「課題別委員会」について
- 4 その他

前記第二回目の報告事項について、主な点を簡単に報告する。

(1-2) の主旨

これまで「科研費審査委員の推薦」であつたものが、今回からは「適切な研究者情報の提供」となった。東洋学研連としては「適切な研究者情報の提供」を新しい方式のもとに行うこととなった。東洋学研連が「対応研連」として認められている、以下の「分野—分科—細目—キーワード」に即して、関係のある学協会より、積極的にかつ随意に「適切な研究者情報の提供(旧Ⅱ委員の推薦)」をする。

研連としては次の四力所の情報提供を出すことができる。

	第一段審査	第二段審査
1 地域研究	一名	一名
2 文学	七名	一名
3 言語学	四名	一名
4 史学	一—三名	一名

東洋学研連の池田知久委員長から、東洋学は窓口研連が一つもないので、情報提供したとしても、それがすなわち決定ということにはならない。どのような結果になるかわからないが、東洋学の発展のために是非協力してほしいという主旨の話がなされた。調整の結果、全国大学書道学会は印度仏教学会、美術史学会とともに、上記4「史学一般」の第一段審査に研究者の情報提供することに決まった。もう少し詳しく述べれば、「史学一般」(キーワード「世界史・文化交流史・比較歴史学・比較文明論・史料学」)に、本学会から一名「推薦」することである。

三月十日までに、その結果を池田知久委員長へ報告するという時間的な制約もあって、三月六日、大学書道学会の中央幹事会を開催し、「適切な研究者情報の提供」について検討した。今回はこれまでの経緯がある程度承知している者ということで、研究連絡委員である横田恭三氏(跡見学園女子大学)

をあてることとなった。

審議事項(1)

シンポジウムの案内

日本学術会議東洋学研連連絡委員会公開シンポジウム

「東洋学におけるディシプリンとその教育」

日時 平成十六年五月十五日(土) 十四時—一七時

会場 共立女子大学本館二〇六教室

その他

今後の東洋学について

「日本学術会議法の一部を改正する法律」を承けて、平成十七年度十月一日で、東洋学研連は解体される。生き残りをかけて今からどのような方向で伸ばしていくか検討していく必要がある。↓ 将来計画委員会を立ち上げる。

本学会の研究分野について

全国大学書道学会幹事長 野中 浩俊

福岡大会の折、研究協議の席上、本学会の研究分野に関する発言があり、その後、会員の皆様から研究分野の検討を望む声が寄せられました。そこで、中央幹事と紀要編集委員が中心となり、この件について検討を重ねましたが現在なお継続審議中であります。次年度の徳島大会までにはこの点についてある程度の方角性をお示し出来るものと思っております。

尚、福岡大会に於ける小木会長発言の中で「査読をしました但云々」については、一部小木会長の勘違いがありました事、この場を借りて訂正し、お詫び致します。

平成十五年 全国大学書道学会

新入会員

大橋 修一 埼玉大学教授
坂井 孝次 福岡教育大学講師
原田 博至 淡海書道文化専門学校副校長
小林留美子 福井大学大学院修了生

新入準会員

利光亜希子 新潟大学大学院
島田 美喜 東京学芸大学大学院
杉山 勇人 東京学芸大学大学院
鷹啄 知美 東京学芸大学大学院
緑川奈々子 東京学芸大学大学院
黄 燕峰 東京学芸大学大学院
劉 潤福 東京学芸大学大学院
浅川 学 東京学芸大学大学院
黒田 悟史 東京学芸大学大学院
鈴木 綾 東京学芸大学大学院
徳泉 さち 東京学芸大学大学院
村松 悠里 東京学芸大学大学院
金 貴粉 東京学芸大学大学院
胡 紫南 東京学芸大学大学院
テレン・ウシ・ホーヴ 東京学芸大学大学院
菊澤 絵美 武蔵野大学大学院
大畠 真奈 武蔵野大学大学院
馬場 美幸 横浜国立大学大学院
後藤久美子 福岡教育大学大学院
木内 理恵 福岡教育大学大学院

.....

事務局

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2

横浜国立大学 教育人間科学部

国語・日本語教育講座 青山(書道)研究室内

全 国 大 学 書 道 学 会

新入会員推薦のお願い

会員の先生から、新入会員・準会員をご推薦いただき、さらに本会の充実を図りたいと考えております。「規約」と「新入会員用会員原票（入会申込書）」をとじておきましたので、よろしくお願いいたします。

※「新入会員用会員原票（入会申込書）」に記入の上、事務局（下記所在地）まで郵送してください。

※年会費は、会員6,000円・準会員5,000円です。なお、大学院修了後は、会員の資格として扱います。

送金は、必ず郵便振替（青色用紙）でお願いします。（用紙の通信欄に、「新入会員」もしくは「新入準会員」と明記してください。）振込先は下記の通りです。

■口座番号 00110-9-613810

■加入者名 全国大学書道学会

〈事務局〉〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2

横浜国立大学 教育人間科学部 国語・日本語教育講座

青山（書道）研究室内

TEL 045-339-3450

全 国 大 学 書 道 学 会

----- キリトリセン -----

全国大学書道学会 新入会員用会員原票（入会申込書）

〔 会員・準会員 〕 どちらかに○

会員番号 ※

—

都道府県名	※平成		年	月	日	入会
ふりがな					ふりがな	
氏 名	印				雅 号	
生年月日	(明・大・昭 年 月 日生 男・女)				最終卒業校	
勤務先			職 名			
勤務先 所在地	〒				電話番号（下段はFAX） () — () —	
現住所	〒				電話番号（下段はFAX） () — () —	
帰省先 (大学院生の方)	〒				電話番号 () —	
推薦者（会員） 及 び 推薦理由						
〔規約第2条に定めた資格に該当するもの（大学教官等）は、記入不要〕						